

脱炭素モデル地区のPRの考え方

●脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」の概要

(1) 脱炭素アクションみぞのくちとは

- 川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて2020年2月に2050年のCO₂排出実質ゼロを表明
- 同年11月に策定した脱炭素戦略の2030年に向けた取組の一つとして
脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」(DAM)を創設
- 多くの市民・事業者・団体が取組を進めており、脱炭素社会を実現するためのポテンシャルがある地域として、**高津区溝口周辺地域**を設定

目的

脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの**環境配慮型のライフスタイルへの行動変容**を促進し、脱炭素社会の実現を目指す



(2) 脱炭素アクションみぞのくち推進会議

- 脱炭素の取組を実施している地元企業や地域団体など、溝口地域で活躍する事業者・団体等が集まり、取組の展開や広報などを連携して推進
- 各主体の取組に関する**情報共有・発信**、イベント等の開催、会員事業者の**つながり作り、事業マッチング**などを実施
- 令和4年12月現在の会員数は39

主な会員

- 東急（株）
- 川崎市地球温暖化防止活動推進センター
- ENEOS（株）
- みぞのくち新都市（株）※ノクティ
- マリイファミリー溝口
- 洗足学園中学高等学校
- （株）川崎フロンターレ
- かわさき生活クラブ
- JR武蔵溝ノ口駅
- 富士通（株）
- Amazon



(3) 脱炭素先行地域

- 2030年度までの**民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロ**を目指す「脱炭素先行地域」として、2022年4月に国から選定された
- 国の交付金を活用しながら全国のモデルとなるよう、関係者と取組を推進

取組① 川崎市高津区溝口周辺に所在する民間施設群 (脱炭素アクションみぞのくちの一部)
事業推進主体：「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員企業

(特徴) 大都市の中心部の市街地・交通要衝
商店街・商業施設・オフィス・業務ビル・製造工場等が所在

取組② 川崎市のすべての公共施設群 (約1,000か所)

事業推進主体：川崎市

(特徴) 民生業務部門で市域最大の温室効果ガス排出事業者

(4) 展開中の主な脱炭素アクション

- 水素エネルギーの展開
 - ・ENEOS川崎高津水素ステーション
 - ・自立型水素エネルギー系統 (JR武蔵溝ノ口駅)
- 市民の行動変容の促進に向けた実証事業
 - ・シェアサイクルポート
 - ・給水スポット
 - ・プラスチックごみの回収
- 再生可能エネルギーの導入
 - ・ノクティプラザ
 - ・東急線（全線）
 - ・富士通ゼネラル
- 多様な主体の連携による脱炭素アクション（プロジェクト）創出
 - ・キッズYouTuberが脱炭素の取組を紹介する動画
 - ・市民の行動変容アプリ

会員一覧やその他の取組についての詳細は以下URLを参照
<https://carbon0-mizonokuchi.jp/>



脱炭素モデル地区のPRの考え方

●モデル地区の取組を加速させていくための方向性

(1) 課題認識

- 脱炭素アクションみぞのくち（DAM）に参加する多くの事業者が**優れた脱炭素の取組**を持っているが、**単発・ぶつ切り**の発信となり個々の取組の関連性が見えない状況
- 事業者の目に、DAMがシナジーを生み出すようなより一層魅力的な投資先として映る必要がある
- 市民にとっては「**自分たちの生活が様々な場面で脱炭素に関係している**」ということを実感しにくい

→様々な取組を引き続きみぞのくちに集め、展開していくとともに、今後は**市民・事業者に「自分たちも脱炭素の取組に関わっている」と実感させる**

(2) 解決策の例

- 「みぞのくちでの**生活の中で何気なく脱炭素に貢献している**」という事実を**一連のストーリー**として描くことで、当事者意識を喚起
- さらに、ストーリーに沿った広報やアクションを起こすことで情報が拡散し、**勝手に／自然と話題になっていく**ことを狙う

既に行われている脱炭素の取組

- ・モデル地区で活躍する事業者の強み
- ・面白い取組 など

掘り起こし

「生活の中で何気なく脱炭素に貢献している」ストーリー

付加価値

ストーリーに沿った広報・アクションの実施

情報が拡散・勝手に／自然と話題に

市民「話題になっているこの工芸商品を**試してみよう！**」（行動変容）
事業者「**溝口ならウチの工芸な商品が売れそう！**」（次の投資）

(3) 目指すPR（ブランド化）の方向性

- 個々の取組を市民生活に結びつける**一連のストーリーを描く**
- ストーリーを伝えていく**広報・シンボル的なアクション**を通じて多くの市民・事業者に対し情報を拡散
- 話題性を高めて**ムーブメント**を起こし、他地域に波及させる

●右のような「**正のスパイラル**」

を生み出すことで、自然とアクション・投資が集まり、ニュース化を進める

●結果、**行政の手を離れて自走**することを狙う

→**先行投資**として市が広報を行い自立への道筋をつけることが肝要

アクション

次のアクション
・投資呼込み

行動変容
が起きる

地域のブランド
価値が高まる

(4) ブランド化に向けたPR会社の活用

- 効果のあるPRを戦略的に実施するためには、広報のプロであるPR会社や広告代理店等の**伴走支援**や**専門的なノウハウ**の活用が必要不可欠
- 自由発想のプロポーザルにより**「楽しい・面白い」と「気候危機」の隙間に“一本筋を刺す”**魅力的なストーリー・広報戦略の提案を受ける

PR会社等の支援が必要な業務の例

伴走支援 →コンサルティング業務

- ・**ターゲット**の明確化（ペルソナ設定や課題整理など）
- ・**資源**（DAM推進会議メンバーの強みや面白い取組など）の**掘り起こし**
- ・多くの人に「刺さる」**ストーリー**づくり
- ・ターゲット、ストーリー等を踏まえた広報戦略の策定

専門的なノウハウ

- ・多様な手段を活用した情報発信
→既存の広報手法に加え、**メディアリレーション**を活用
- ・魅力的、シンボル的なアクションづくり
→**ニュースバリュー**を持つアクションの見極め

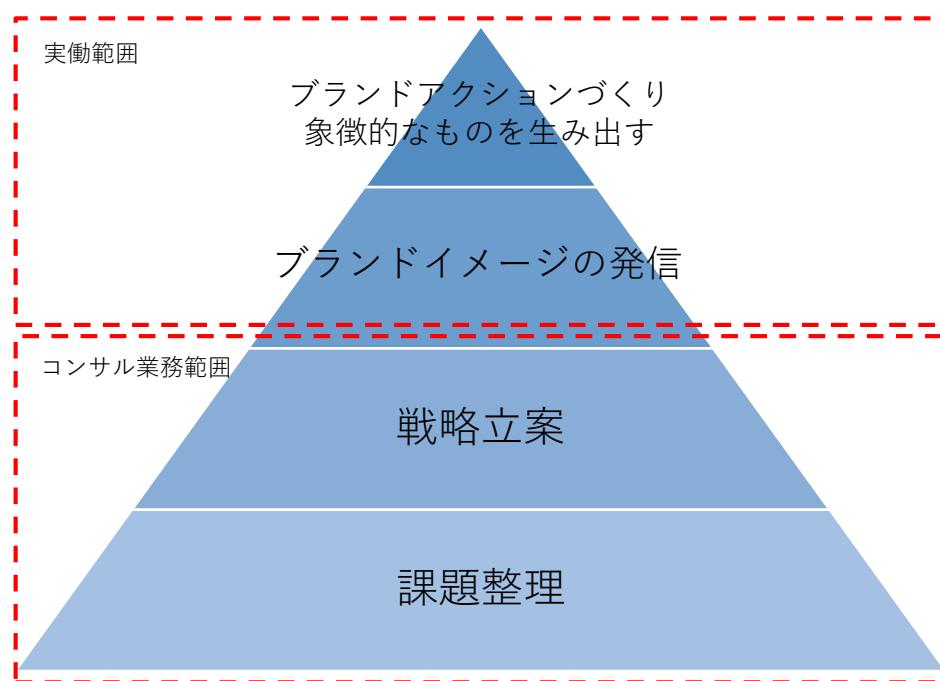
脱炭素モデル地区のPRの考え方

●PR事業のイメージ

「楽しい・面白い」と「気候危機」の隙間に“一本筋を刺す”ことを得意としているPR会社等にプロポーザルで提案をいただくことで、脱炭素の「見せる化」、「みぞのくちのブランド化」を図る。

(1) PR事業の全体イメージ

- 戦略に基づく広報の実働
 - ブランドイメージ発信のためのPR、ブランドアクションづくり
- 広報業務の土台となる**課題整理～戦略立案**の部分に関する伴走支援
 - コンサルティング業務



(2) 戰略的広報活動の企画立案及び支援

- 広報・ブランドアクションの実施までの道筋をつけていく**ために、定期的なアドバイザリーや調査・ヒアリングとともに、課題整理、戦略の企画立案、ブランドアクションの提案をしていただく

広報課題の整理

→リサーチを元に、課題や傾向を分析、まとめる

広報戦略の企画立案

→広報課題を元にアイデア提案

ブランドアクションの提案

→広報戦略に基づく具体的なアクションの提案

伴走支援

- ・定例ミーティング（月1回想定）
- ・日々のメールや電話等でのやり取り

調査・ヒアリング

(3) 脱炭素アクションみぞのくちに関するPR

- 広報戦略において設定したストーリーやブランドイメージを象徴的に市民・事業者に発信するため、PRの企画立案、計画策定、PR活動の実施
- 特設ウェブサイトの管理、更新等

(4) ブランドアクションづくり

- 提案したブランドアクションの実施
- メディアによる記事・ニュース化や、SNS等での話題化を図るため、アクションの手法に応じた必要な広報

(5) 効果測定、分析

- 実施した広報、ブランドアクションについて、アンケート結果、アクション参加者数、SNSの反響、報道状況等の実績を調査し効果測定
- 効果測定の結果を踏まえ、効果的な広報手法やアクションの内容について分析し報告

脱炭素モデル地区のPRの考え方

●（参考）令和4年度「脱炭素アクションみぞのくち広場」開催概要

（1）概要

- 日時 令和4年11月12日 11時00分～16時00分
- 会場 JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路（メイン会場）
川崎市地球温暖化防止活動推進センター
ノクティ連絡通路
マルイファミリー溝口入口
- 出展団体数 14（うちメイン会場出展は14団体）
- 出展料 無料
- 運営 事務局（受託業者）及び川崎市

（2）会場について

- メイン会場は川崎市にて確保
- メイン会場以外は、サテライト開催を希望する出展者にて確保

（3）什器・備品等について

以下について、各出展団体から希望数を聴取の上、事務局（受託業者）にて手配

- 長テーブル（W180cm×D45cm） 24
 - パイプ椅子 38
 - イーゼル 12
 - ポスター等掲示用パーテーション（W90cm×H180cm） 12
 - 飛沫防止用クリアパーテーション（W180cm×H900cm） 7
 - フロアスタンド（L字スタンド・A3掲示用） 12
 - イベント名バナー用スタンド 4
 - 各ブース名称サイン 14
 - イベントチラシ（A4両面・カラー） 500
 - イベントポスター（A2片面・カラー） 20
 - スタンプラリー台紙（A5両面・カラー） 200
- ※ その他、消毒液、筆記具など

（4）その他詳細

以下URLのイベントチラシのとおり。

https://carbon0-mizonokuchi.jp/pdf/news_20221101.pdf

（4）当日の様子（メイン会場）等

